

令和2年12月9日

各位

大阪府中央区瓦町三丁目5番7号
株式会社アドバンスクリエイト
代表取締役社長 濱田 佳治
(コード番号: 8798 東証第一部)
(連絡先) 社長室長 林 寛一郎
電話 06-6204-1193

人とテクノロジーを深化させ進化する会社

**【保険市場コラム】「一聴一積」に林 周作さんによるコラム
「世界が広がる生き方をしよう」の掲載を開始しました**

当社が運営する国内最大級の保険選びサイト「保険市場」(<https://www.hokende.com/>)において、保険市場コラム「一聴一積」内に、郷土菓子研究社代表の林 周作(はやし しゅうさく)さんによるコラムの掲載を開始いたしましたので、お知らせいたします。

■掲載メディア

国内最大級の保険選びサイト「保険市場」

<https://www.hokende.com/>

今後も、当社はWebマーケティングに主軸を置いた事業展開を進め、国内最大級の保険選びサイト「保険市場」において、ユーザビリティを向上させ、お客様の体験価値を高めていくと共に、刻々と変わる消費者動向を先取りし、5G時代の到来を睨んで最先端のテクノロジーとWebマーケティングノウハウを駆使し、あらゆる保険の情報メディアサイトとしての進化を追求してまいります。

【プロフィール】

■林 周作(はやし しゅうさく)

郷土菓子研究社代表、菓子職人


1988年京都府生まれ。2008年にエコール辻大阪のフランス・イタリア料理課程を卒業。世界の“郷土菓子”の魅力にとりつかれ、各国のお菓子を実際に食べ、味を伝える菓子職人に。2012年6月から約2年半をかけ自転車でユーラシア大陸を横断。2016年7月に東京・渋谷に、旅で出会った世界の郷土菓子を提供するBinowa Cafeをオープン。これまで『THE PASTRY COLLECTION』(KADOKAWA)など3冊の本を上梓。今も各国を訪れてはその土地の郷土菓子を研究し、その数500種以上、訪れた国は50カ国を超える。

本コラムの林 周作さんは、世界の“郷土菓子”に興味を持ち、郷土菓子研究の旅に出られました。その後、旅で出会った世界の郷土菓子を提供するカフェをオープン。今も各国を訪れてはその土地の郷土菓子を研究されています。日本と海外の「お菓子文化の違い」をテーマに、旅で出会ったお菓子や文化、実際に見てきた“世界”をお話ししてまいります。

「保険市場」は情報メディアサイトとして、保険に限らず多様なジャンルのコラムを掲載することで、お客さまにとってより幅広く有益な情報提供ができるものと考えております。

連載名：「世界が広がる生き方をしよう」

URL：<https://www.hokende.com/news/blog/entry/hayashishusaku/001>



私は今、渋谷にあるカフェで、旅して見つけた世界の郷土菓子を作っている。これまで50カ国以上を旅し、500種類以上の郷土菓子を研究してきた。菓子作りの師匠は、世界各国で出会った人々だ。ここでは、旅で出会ったお菓子や文化、実際に見てきた“世界”をお伝えできたらと思う。

はじまりはいつも突然に

“郷土菓子の世界”に興味を持ったのは、料理学校を卒業した年のことだった。それまで、本やインターネットにはヨーロッパのお菓子が沢山あるのに、どうして巷の洋菓子屋にはそれらが並んでいないのだろう、というのが疑問だった。「日本では知られていない。でも世界のどこかで愛され続けている」そんな世界の郷土菓子の存在に、私は妙に惹かれた。日本にいても情報は得られるが、実際に現地ではどのように食べられているのか。どんな味がして、どんな人が食べているのだろうか？素敵なカフェのショーケースに並んでいるのだろうか.....お菓子に対しての想像は膨らむばかり.....

以上